

機械（精密機械を除く）器具製造業における高温・低温物との接触災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	13～ 14	暖をとるため薪ストーブをしていたところ、ズボンに火の粉が移り、右足のふくらはぎをやけどした。	23	1 ～ 9
5	16～ 17	注湯作業中、注湯が終了し、取鍋（とりべ）を後向きに移動している際に足をステップから踏み外し、左斜め後方にお尻、背中から倒れた。転倒時、手を取鍋から離した際に取鍋が右回転し、残っていた（若干）湯が脚部へかかり、作業服も燃えた。	46	10 ～ 29
7	11～12	当社工場内にて、溶接作業の途中で水分補給をしていたところ、気分が悪くなったため、冷房の効いたところで休憩していたが、急に、頭痛、吐き気、指のしびれを起こし、動けなくなった。熱中症と診断された。	23	10 ～ 29
9	10～ 11	工場内でガス切断器での切断作業中、対象物を切り終え点火したままの切断器を近くの棚に引っかけたまま次の対象物と交換しようとした為、切断器が滑って顔面に落下し火傷した。	52	1 ～ 9

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html